

「田中貴金属グループ CSR 報告書 2023」を発行

TANAKAホールディングス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長執行役員：田中 浩一朗）は、2023年11月2日「田中貴金属グループ CSR 報告書 2023」を発行しました。

本報告書は、貴金属がもたらすゆとりある豊かな社会と美しい地球の未来の実現に向けて田中貴金属グループが進めているCSR（企業の社会的責任）活動を報告するとともに、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを図ることを目的として発行しています。当社グループでは2004年より環境報告書を毎年発行し、2007年からはCSR報告書として掲載内容を拡充しており、今年で20回目の発行となります。

本報告書のPDFデータは以下URLよりダウンロードいただけます。

- ・ダウンロードページのURL：<https://www.tanaka.co.jp/about/csr/>



表紙イメージ

～「田中貴金属グループ CSR 報告書 2023」主なトピックス～

<100%リサイクル材のみを利用した再生貴金属材「RE シリーズ」>P07

金（Au）や白金（Pt）などの貴金属資源において100%リサイクル材のみを精製利用した再生貴金属材「RE シリーズ（読み方：アールイーシリーズ）」について紹介しています。

<CSR 報告書の再生利用>P13

CSR 報告書をLIMEX（ライメックス）で印刷し、読み終えた冊子を廃棄せずに回収して再生利用する取り組みを紹介しています。

<グローバル展開の強化>P11、P13、P22

事業活動におけるCO₂排出量（P11）、産業廃棄物排出量（P13）について、海外拠点の実績を集計し初めて開示しました。また、グループ会社であるMetalor Technologies International SAで進めている太陽光発電導入（P11）、安全対策（P22）の事例を掲載するなど、グローバル展開を強化しています。

<DE&I 宣言と DE&I 推進室設立>P21

ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン（多様性、公平性、包括性）の推進を重要な経営戦略のひとつとして位置づけ、全社で取り組んでいくことを表明する「DE&I 宣言」を策定しました。また、新設したDE&I 推進室で進めている「心理的安全性のある組織づくり」などの取り組みを紹介しています。

＜研究開発＞P06～P07

半導体検査装置向けプローブピン用新合金の開発、半導体の微細化・耐久性向上に寄与するルテニウム成膜プロセスの確立について紹介しています。

＜品質と信頼＞P08～P09

RBA 行動規範の遵守や、EcoVadis シルバー認証の継続、責任ある鉱物調達など、世界中のお客様にご満足いただくための CSR 評価への取り組みを紹介しています。

＜地球環境を守る＞P10～P15

2022 年 4 月に策定した「田中貴金属グループ カーボンニュートラル宣言」のほか、CO₂ 排出量、産業廃棄物排出量、水使用量などの環境負荷低減活動を紹介しています。生物多様性保全活動では、従業員の自宅や工場敷地で保護した植物を元の生息地へ返還する取り組みを進めています。

＜地域・社会への貢献＞P16～P17

8 年連続となる東京都スポーツ推進企業認定、ブラインドサッカーをはじめとする障がい者スポーツ支援、田中貴金属記念財団による研究助成金制度などの社会貢献活動を紹介しています。

＜一人ひとりの活躍＞P18～P21

働き方改革や人材育成、子育てと仕事の両立支援に加えて、社内 SNS や異業種交流会など社内外のコミュニケーション向上に取り組んでいます。

＜より安全な職場環境づくり＞P22～P23

全従業員が一丸となって進めている安全活動について多数の事例を掲載しています。また、労働安全の指標である「度数率」「強度率」※について初めて開示しました。

※「度数率」…100 万延べ実労働時間当たりの労働災害による死傷者数

「強度率」…1,000 延べ実労働時間当たりの延べ労働損失日数

＜健康経営の実現に向けて＞P24～P25

田中貴金属グループ健康宣言のほか、従業員のメンタルヘルス対策や健康増進の取り組みについて紹介しています。また、「健康優良企業（銀の認定）」、「健康優良法人」など衛生活動に関する外部評価も紹介しています。

＜誠実で健全な企業であるために＞P26～P27

事業継続計画（BCP）の一環として国内 10 拠点へ導入しているライブカメラの事例を掲載しています。また、人権の尊重やハラスメント研修など倫理に関わる取り組みも紹介しています。

＜CSR パフォーマンス＞P28～P30

日本国内の CO₂ 排出量におけるスコープ 1、スコープ 2、ならびに産業廃棄物排出量の有害・非有害といった内訳を初めて開示しました。その他、生物多様性保全活動や障がい者スポーツへの参加者については実人数・延べ人数を併記するなど、当社ならではのユニークな CSR データを多数掲載しています。

■ T A N A K Aホールディングス株式会社（田中貴金属グループを統括する持株会社）

本社：東京都千代田区丸の内 2-7-3 東京ビルディング 22 階

代表：代表取締役社長執行役員 田中 浩一郎

創業：1885 年

設立：1918 年 ※

資本金：5 億円

グループ連結従業員数：5,355 名（2023 年 3 月 31 日）

グループ連結売上高：6,800 億 3,600 万円（2022 年度）

主な事業内容：田中貴金属グループの中心となる持株会社として、グループの戦略的かつ効率的な運営とグループ各社への経営指導

HP アドレス：<https://www.tanaka.co.jp>（グループ）、<https://tanaka-preciousmetals.com>

（産業事業）

※2010 年 4 月 1 日に T A N A K Aホールディングス株式会社を持株会社とする体制へと移行いたしました。

■田中貴金属グループとは

田中貴金属グループは1885年（明治18年）の創業以来、貴金属を中心とした事業領域で幅広い活動を展開してきました。国内ではトップクラスの貴金属取扱量を誇り、長年に渡って、産業用貴金属製品の製造・販売ならびに、宝飾品や資産としての貴金属商品を提供。貴金属に携わる専門家集団として、国内外のグループ各社が製造、販売そして技術が一体となって連携・協力し、製品とサービスを提供しております。また、さらにグローバル化を推進するため、2016年にMetalor Technologies International SAをグループ企業として迎え入れました。今後も貴金属のプロとして事業を通じ、ゆとりある豊かな暮らしに貢献し続けます。

田中貴金属グループの中核5社は以下の通りです。

- ・ T A N A K Aホールディングス株式会社（純粋持株会社）
- ・ 田中貴金属工業株式会社
- ・ 田中電子工業株式会社
- ・ EEJA 株式会社
- ・ 田中貴金属ジュエリー株式会社